

Occurrence of *Juncus hizenensis* Satake in Nagasaki Prefecture, Southwestern Japan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00055628

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



中西弘樹* : ヒゼンコウガイゼキショウの再発見

Hiroki Nakanishi* : Occurrence of *Juncus hizenensis* Satake
in Nagasaki Prefecture, Southwestern Japan

Abstract

Besides the new locality, the morphology and ecology of *Juncus hizenensis* are described. The species had never been found since the first collection for the description as a new species. The species grows on the center of a marsh with *Eriocaulon sikokianum*, *Utricularia yakusimensis* and *Rynchospora fujiana*. The community was identified as Utriculario-Eriocaulum sikokiani.

Key Words: *Juncus hizenensis*, marsh, Nagasaki Prefecture, new locality.

ヒゼンコウガイゼキショウ (*Juncus hizenensis* Satake)は小型のイグサ科植物で、1933年に千葉常三郎によって長崎県西彼杵郡琴海村(現琴海町)村松郷で採集され、佐竹(1936)によって新種記載されたものである。その後、佐竹(1938)が他のイグサ科植物と共にその特徴を解説したものの、本種が発見されて以来50年以上も全く採集されたことがなく、大井(1965)や北村ほか(1964)にも記載されていないし、地元の植物誌(外山1957, 1980)にも記録されることがなかった。また、レッドデータブック(我が国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会植物種分科会1989)には載っているが、「現状不明」となっている。

筆者は1991年、長崎県西彼杵郡大瀬戸町においてその自生地を発見し、その後本種の形態および生態を観察したので、新産地の記録と共に報告しておく。なお、標本の一部は京都大学理学部標本庫に収める予定である。

本稿をまとめるにあたり、標本を同定いただいた京都の村田源先生にお礼を申し上げます。

形 態

茎は高さ10~20 cmで、上部は直立または斜上し、下部はやや匍伏する(Fig. 1)。茎の太さは径0.5~0.8 mmで、ほとんど無翼である。葉は扁平で、長さは2~6 cm、幅は0.5~1 mmである。頭状花序はふつう3~4個つき、1つの頭花は3~10花からなる。佐竹(1936)はヒゼンコウガイゼキショウの特徴として頭花が少ないこと以外に、蒴果が大きいこ



Fig. 1. *Juncus hizenensis* Satake.

とと、内花被片が外片よりはるかに長いことをあげているが、この2つの形質は同一株の中でも変異が大きい。しかし、蒴果の長さはふつう花被片の1.2~1.3倍あり、内花被片は外片より大きいものが多い。種子は卵形または楕円体、赤褐色で、長さは0.5~0.6 mm、幅は0.25 mmである。

コウガイゼキショウ亜属の中で、茎の下部が斜上またはやや匍伏する点は著しい特徴であるが、茎や葉が細く全体に小型で、頭花の数が少ない点は、ニッコウコウガイゼキショウやその変種のマツバコウガイゼキショウと似ている。しかし、佐竹(1938)はそれらを茎が扁平にならないことで、コウガイゼキショウやヒゼンコウガイゼキショウと亜節のレベルで区別している。今後、それらとの分類学的な関係を、詳しく調べる必要があるだろう。

生育立地および群落

自生地は長崎県の西彼杵半島のほぼ中央部である

*〒850 長崎市弥生町666 長崎女子短期大学 Nagasaki Women's Junior College, 666 Yayoimachi, Nagasaki 850, Japan

Table 1. Utriculario-Eriocaulum sikokiani including *Juncus hizenensis*

Stand number	1	2	3	4	5	6	
Height of comm.(cm)	25	25	25	20	20	20	
Coverage (%)	95	100	98	95	95	100	
Number of species	13	16	16	18	16	12	
Character & differential species of association							
<i>Juncus hizenensis</i>	33	33	22	33	44	22	ヒゼンコウガイゼキショウ
<i>Eriocaulon sikokianum</i>	33	22	22	33	33	33	シロイヌノヒゲ
<i>Utricularia yakusimensis</i>	12	12	12	12	12	+2	ムラサキミミカキグサ
<i>Rynchospora fujiana</i>	22	12	12	+2	+2	12	コイヌノハナヒゲ
<i>Dimeria ornithopoda</i> var. <i>tenera</i>	12	+	+2	+2	12	12	カリマタガヤ
<i>Coelachne japonica</i>	12	12	+2	+2	.	.	ヒナザサ
<i>Habenaria radiata</i>	.	+	+2	+	+2	.	サトウ
Character species of higher units							
<i>Scirpus hotarui</i>	12	+	+	+	22	+	ホタルイ
<i>Isachne globosa</i>	+	+	+	+2	12	22	チゴザサ
<i>Viola verecunda</i> var. <i>semilunaris</i>	+2	+	+2	+	+	+	アキスミレ
<i>Cyperus haspan</i>	+2	22	+	12	+	.	コアヒカヤマリ
<i>Hypericum laxum</i>	+	+	.	+	+	+	コウボク
<i>Eleocharis tetraquetra</i>	.	12	+2	+2	+2	+	マツカイ
<i>Drosera rotundifolia</i>	+2	+2	+2	12	.	.	モウセンゴケ
<i>Eupatorium lindleyanum</i>	+	サトウト
Companions							
<i>Cyperus sanguinolentus</i>	.	+2	+	.	+	+	カラカサ
<i>Haloragis micrantha</i>	+	.	+	12	.	.	アリトウクサ
<i>Ixeris dentata</i>	.	+	+	+	.	.	ニガナ
<i>Sacciolepis indica</i>	.	.	.	+	+	.	ハイメリ
<i>Potamogeton distinctus</i>	.	.	.	+	+	.	ヒルシロ
<i>Polygonum sieboldii</i>	+	.	アキノナギ

西彼杵郡大瀬戸町の丘陵地の谷合に発達した湿地である。湿地の面積は約 1500 m² で、オオミズゴケは中央部を除くとほぼ全域に生育し、pH は 4.7~5.0 であった。ヒゼンコウガイゼキショウは湿地の中央部に生育しており、その部分に足を踏み入れると、膝まで入り込み、歩行が困難となるほど有機物を含む泥土が厚く堆積している。ヒゼンコウガイゼキショウを含む群落は面積が約 200 m² で、オオミズゴケを欠き、シロイヌノヒゲ、ムラサキミミカキグサ、コイヌノハナヒゲ、カリマタガヤ、ヒナザサ、ホタルイなどが常在的に出現した均一な種組成をした群落となっている (Table 1)。この群落は Fujiwara (1979) のムラサキミミカキグサ-シロイヌノヒゲ群落と同定され、また Hada (1984) が中国地方から記載したイヌノハナヒゲ群落の種組成と類似するが、後者の立地は砂礫質または砂質粘土である点が異なる。構成種はいずれも比較的背丈の低い植物で、ヒゼンコウガイゼキショウを被って生育する植物はなく、日当たりは良い。

Specimens: Nagasaki Pref.: Ohseto-cho, Nishisonogi-gun. Aug. 15. 1991, H. NAKANISHI NWJC* 12859; July 12. 1992 NWJC 13013; Aug. 16. 1992 NWJC 13132 (KYO, NWJC); July 29. 1993 NWJC 13885 (KYO, NWJC).

*Herbarium, Nagasaki Women's Junior College,

Nagasaki 850, Japan.

引用文献

- Fujiwara, K. 1979. Moor vegetation in Japan with special emphasis on *Eriocaulo-Rynchosporion fujiana*. Bull. Yokohama Phytosoc. Soc. Japan. 16: 325-332.
- Hada, Y. 1984. Phytosociological studies on the moor vegetation in the Chugoku district, S.W. Honshu, Japan. Bull. Hiruzen Research Institute, Okayama University of Science 10: 73-110.
- 北村四郎・村田 源・小山鉄夫 1964. 原色日本植物図鑑(下). 464 pp. 保育社, 大阪.
- 大井次三郎 1965. 改訂新版日本植物誌 顕花篇. 1560 pp. 至文堂, 東京.
- 佐竹義輔 1936. 日本植物断報(其二). 植物研究雑誌 12: 47-49.
- 佐竹義輔 1938. 大日本植物誌トウシンソウ科. 103 pp. 三省堂, 東京.
- 外山三郎 1957. 長崎県植物誌. 164 pp. 長崎県理科教育協会, 長崎.
- 外山三郎 1980. 長崎県植物誌. 312 pp. 長崎県生物学会, 長崎.
- (received November 11, 1994; accepted January 5, 1995)